(クレーンブームを使用)

■主ブーム定格総荷重(ton)

クローラ拡張・全周

作業半径 m ＼ ブーム長さ m(ft.)	12.19 (40)	15.24 (50)	18.29 (60)	21.34 (70)	24.38 (80)	27.43 (90)	30.48 (100)	33.53 (110)	36.58 (120)	39.62 (130)	42.67 (140)	45.72 (150)	48.77 (160)	51.82 (170)	54.86 (180)	57.91 (190)
4	80.0															
4.5	71.9	71.2														
5	59.7	59.6	59.5													
5.5	51.0	50.9	50.8	50.7												
6	44.5	44.3	44.2	44.1	44.0	39.0/6.5m										
7	35.3	35.2	35.1	35.0	34.9	34.8	34.7	31.3/7.5m								
8	29.2	29.1	29.0	28.8	28.8	28.7	28.6	28.4	28.3	25.7/8.5m						
9	24.8	24.7	24.6	24.5	24.4	24.3	24.2	24.0	23.9	23.8	23.4	20.8/9.6m				
10	21.6	21.4	21.3	21.2	21.1	21.0	20.9	20.7	20.6	20.5	20.3	20.2	20.0/10.1m	17.2/10.6m		
12	17.0	16.9	16.8	16.6	16.5	16.4	16.2	16.1	16.0	16.0	15.9	15.6	15.5	15.4	15.3	14.0
14		13.8	13.7	13.6	13.4	13.3	13.2	13.1	13.0	12.9	12.9	12.7	12.5	12.4	12.3	12.2
16			11.5	11.4	11.2	11.2	11.0	10.9	10.8	10.7	10.7	10.5	10.4	10.3	10.2	10.1
18			10.7/17m	9.8	9.6	9.5	9.4	9.3	9.2	9.1	9.0	8.9	8.8	8.7	8.6	8.5
20				8.5	8.3	8.3	8.1	8.0	7.9	7.8	7.7	7.6	7.5	7.4	7.3	7.2
22					7.3	7.2	7.1	7.0	6.9	6.8	6.7	6.6	6.5	6.4	6.3	6.2
24					6.9/23m	6.4	6.3	6.2	6.1	6.0	5.9	5.8	5.6	5.5	5.5	5.3
26						6.0/25m	5.6	5.5	5.4	5.3	5.1	5.0	4.9	4.8	4.7	4.6
28							5.0	4.9	4.8	4.7	4.5	4.4	4.3	4.2	4.1	4.0
30								4.4	4.3	4.2	4.0	3.9	3.8	3.7	3.6	3.5
32									3.9	3.7	3.6	3.5	3.3	3.2	3.1	3.0
34									3.7/33m	3.3	3.2	3.1	2.9	2.8	2.7	2.6
36										3.0	2.8	2.7	2.6	2.5	2.3	2.2
38											2.5	2.4	2.3	2.2	2.0	1.9
40												2.1	2.0	1.9	1.7	1.6

〈注〉

❶作業半径とは、クレーンの旋回中心よりつり上荷重の重心までの水平距離をいいます。

❷定格総荷重は、水平堅土上における転倒荷重の78%以内で、フックブロック、玉掛け用ワイヤロープ、その他巻上用付属品の重量を含んだ値です。

❸定格総荷重をつり上げる場合でも、風の影響、地盤の状態、作業速度その他安全作業に有害な状況がある時は、オペレータは荷重の軽減、作業速度を遅くするなど、状況に応じた判断をする責任があります。

❹定格総荷重表の中で、太線枠で囲まれた部分は、ブームまたはジブ等の強度によって定められた値です。

❺表中の空欄の箇所では作業を行うことはできません。

❻クレーン作業中はガントリを必ず最高位置に立てて下さい。

❼クレーン作業時には、必ずクローラを規定位置まで張出してください。

❽すべてのブームに使用される中間のブームの構成および中間支持ロープ取付要領は、取扱説明書の指示を厳守して下さい。

❾主ブーム定格総荷重表をP. 8に示します。主ブームで実際につり上げ得る荷重は、定格総荷重から(主フック+玉掛用ワイヤロープ等のつり具)の重量を差引いた値になります。

❿ジブ定格総荷重表をP. 9に示します。ジブで実際につり上げ得る荷重は、定格総荷重から(主フック+ジブフック+玉掛用ワイヤロープ等のつり具)の重量を差引いたします。

⓫ジブ付主ブーム定格総荷重表をP.10に示します。主ブームにジブを取り付けたままで主フックを使用する場合の定格総荷重は、上表の主ブーム定格総荷重から、ジブの長さ、ジブ角度に応じて次の値を差し引いた値になっています。

ジブ長さ m(ft.)	9.14(30)		15.24(50)		21.34(70)	
ジブ取付角度	10°	30°	10°	30°	10°	30°
差し引く値 ton	1.2	1.4	1.6	2.1	2.2	3.0

実際につり上げ得る荷重は定格総荷重から更に(主フック+ジブフック+玉掛用ワイヤロープ等のつり具)の重量を差し引いた値になります。

⓬ジブを装着できる主ブーム長さは33.53m(110')～51.82m(170')です。

⓭ブームとジブの組合せは次表の通りです。

ブーム長さ m(ft.)	33.53(110)～48.77(160)	51.82(170)
最大ジブ長さ m(ft.)	21.34(70)	15.24(50)

⓮補助シーブ定格総荷重をP.10に示します。補助シーブの定格総荷重は、主ブームと同じ作業半径における主ブーム定格総荷重から補助シーブ重量0.3tonを差し引いた値ですが、補助シーブの最大定格総荷重10.0tonを超えてはなりません。

⓯補助シーブで実際につり上げ得る荷重は、補助シーブ定格総荷重から更に(10tonボールフック+玉掛用ワイヤロープ等のつり具)の重量を差し引いた値になります。また主フックをつり下げている場合は主フック重量も差し引いてください。

⓰主ブームに補助シーブを取付けた場合の主ブーム定格総荷重は、その値から補助シーブの重量0.3tonを差し引いた値となります。また補フックをつり下げた状態で主ブーム作業を行なう場合は更にボールフックの重量0.3tonを差し引いてください。

⓱補助シーブを装着できる主ブーム長さは、12.19m(40')～54.86m(180')です。

⓲ジブまたは補助シーブ使用時の最大作業半径は、その時の主ブームの最大作業半径を超えてはいけません。

⓳ブームの自立は原則としてクローラ前方で行ってください。

⓴57.91m(190')主ブームの場合、51.82m(170')主ブームにジブ(9.14m(30')あるいは15.24m(50'))を装着した場合、または48.77m(160')主ブームに21.34m(70')ジブを装着した場合は、自立および降下の際には、クローラの前端に敷板(ブロック)を敷いてください。

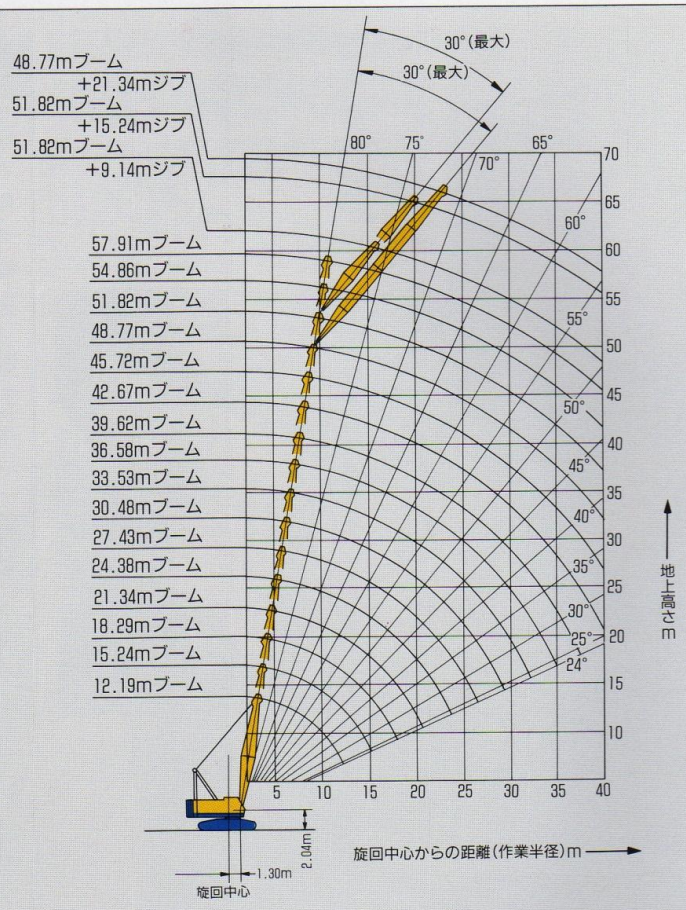
■ワイヤロープ巻掛本数と定格総荷重の最大値およびフックブロックの重量

フック容量	定格総荷重最大値 (ton)								フック重量
	1本掛	2本掛	3本掛	4本掛	5本掛	6本掛	7本掛	8本掛	
80ton	10.0	20.0	30.0	40.0	50.0	60.0	70.0	80.0	1.15ton
50ton	10.0	20.0	30.0	40.0	50.0				0.85ton
30ton	10.0	20.0	30.0						0.70ton
10ton(ボールフック)	10.0								0.30ton

●定格総荷重の最大値はφ26mmユニバランスロープ(工場出荷)を使用した場合の値です。

クレーン

■作動範囲図



■全体図(単位:mm)